

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 2月 6日				
事業所名		ボラリスひろばNEXT石川教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	・工夫をしながらスペースを活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%		・製作に使用した道具が片づけられていないことがあるため整備が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・体調不良時、クールダウン等で使用できるスペースが確保されており、またタオルケット等もあり休息する環境が整っている。 ・本人の必要時に個室を使用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	・常に相談見直しの体制が整われていて話合いのしやすい雰囲気で作られている。 ・朝の打合せ時に、全職員で振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	・職員間で意見がでると、業務のやり方が変わり、以前よりも業務効率良くなったことが多々あった。 ・自由に発言ができる環境である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%		・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・社内研修を月1回行い、外部研修も積極的に参加している。内容も多種多様で自己研鑽の場の機会となっている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・フィードバックに限らず、日々口頭でも情報共有をし職員間で共通理解・対応方法の検討を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%	・システムにて共有できている。	・職員間での共有方法が共通の認識になっていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・地域との連携も強固であるため、広範囲・広義での支援内容を考察・設定できる環境であると思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%		・行事は全体で決めているが、日々の授業内容は全体で行えることが少ない為、チームで立案できる環境を整えていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・常に工夫をしている。 ・その時期、年代に適切なプログラムが組まれている。(文化祭、PC・面接練習等)	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・その時の状況に応じて柔軟に対応している。集団活動が主であるが、その活動の中で個々のスキルを上げるためのプログラムが組まれている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・役割分担の際に、その子に慣れている職員が対応したり共有事項もしっかりと伝えているため、スムーズにグループワークが等が出来ることが多い。確認連携がしっかりとなされているため、個々でもその日準備・必要事項を前もって見通しを立てておくことができる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・共有する時間を決めているため、共有できている。 ・気づいたこと気になる事をすぐに相談できる雰囲気作り環境が整っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・サービス提供記録の毎日の入力業務により職員間の共通認識・自身の再確認を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・4つの基本活動に内容に沿って施設内外に関わらず多方面に目を向けた活動を組み支援に繋げている。	
関係機関や保護者との	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	83%	17%	・自己決定が徹底されている。 ・授業を休むときには、教室長に理由を伝えることで休める環境になっている。 ・中高生メインで就労準備型のため、集団活動・集団行動の重要性を重視している側面もある。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・行政機関や関係機関とのスムーズな情報共有がなされていると思う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	・外部との良好な関係性・連携が図れている。	

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%		・児童館は高校生の利用が難しい部分もあるが、中学生が多い時に連れて行きルール等をしっかりと決めて交流する機会を作ってもいい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	・電話・LINE等で即座に情報共有を図れる関係性が構築されている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%		・過去の動向を把握できていないため判断ができない。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・ご家族の意向や考え、希望が的確・明瞭に反映されていると感じる。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・LINEや口頭にて適切に応じ助言支援を行っている ・ご家庭からの相談が頻繁に届きその際に児童の生活全般、ご家庭全体での悩みなどを解決へと導くよう職員全員が支店している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		・昨年度はインフル・コロナ等が重なり、茶話会の実施がかなわなかった。運動会や授業参観、文化祭等の行事では保護者が集まる機会は作っている。今年度2月に茶話会実施予定である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%	・苦情があった場合管理者はじめ適切かつ迅速に対応している。 ・即座に対応する姿勢が職員全員に意識づいている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・通信の発行・SNSにて情報を発信している。行事があった際にはその時の様子をSNSで配信。今年度よりインスタの更新をし様子が伝わりやすくなっている。 ・SNS広報誌等のツールにてわかりやす	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
非 常 時	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・NEXT文化祭を通じて地域に開かれた事業運営をしている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・訓練の期間、今までの災害を知ってもらう機会にしたり、子どもたちに津波の怖さ、危険度等も知ってもらえる機会になっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%		・利用者が中高生であるため、ご家庭や自身の判断に任されている場合が多い。

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%	・検証をして具体的に検討できている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		